

(別添3)

【常陸大宮市】 校務DX計画

【現状】

常陸大宮市では、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果、令和2年度に導入した校務支援システムの積極的な活用や押印の見直しの実施など、一定の成果が得られている一方で、クラウド環境の有効活用や完全なペーパーレス化への対応等について環境が整っているにも関わらず活用状況が低調なことなどの課題が残っているほか、生成AI等を活用した校務の効率化などに対応できていない状況である。

今後、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言を踏まえて、これらの課題について早急に解決に向けて検討が必要と捉えている。

【課題】

(1) クラウド環境の整備・活用

常陸大宮市では、FAX・押印の原則廃止についての取組みやクラウドツールを活用した学習等が少しずつ進んでいるが、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一扫やロケーションフリーな校務を可能とする環境が整備されていないなど、クラウド環境等を活用した校務DXを十分に推進できていない状況である。

また、各教職員が作成した教材を共有するために整備した共有ドライブも十分に活用されていない状況である。

(2) 生成AI等を活用した校務の効率化

常陸大宮市では、生成AIを活用した校務DXの推進を図るため、生成AIの試験導入を行ったが、教職員の世代間で意見が乖離しており、若年層では積極的に活用していきたい意見が大半である一方で、ベテラン教職員であるほど当該コンテンツ等の活用に難色を示している状況である。

【取組方針】

現状と課題から常陸大宮市では、下記の通り校務DXの推進を図っていく。

(1) クラウド環境の整備・活用

- ・FAX・押印の原則廃止に向けて、関係者と協議をしながら取組を推進する。
- ・校務支援システムにおける名簿情報の不必要な手入力の一層やロケーションフリーな校務の実現など、さらなる利便性向上に向けて、次世代校務支援システム導入の検討を進める。なお、次世代校務支援システムの導入にあたっては、県が主体となって共同調達を実施することとされているため、県をはじめとした関係市町村等と協力しながら導入を目指していくものとする。
- ・共有ドライブ等の活用を促進するため、適時適切な周知を行う。

(2) 生成AI等を活用した校務の効率化

- ・生成AIの校務での有効活用に向け、国のガイドラインに基づいた活用を推進し、他自治体の好事例等の情報収集や教職員の情報リテラシーの向上を目的とした研修等を実施する。